名古屋市博物館は、昭和52年に開館した歴史系の総合博物館です。わたしたちの祖先が残した考古・美術・歴史・民俗に関する資料を集め、保管・収集し、公開しています。

フロア案内

1階

特別展示室・部門展示室では、尾張地方の歴史・文化の特色を明らかにする企画展や、内外のすぐれた文化遺産を紹介する特別展を開催します。

ミュージアムショップでは、オリジナルグッズ、歴史書などを販売しています。

2階

　常設展「尾張の歴史」を開催しています。原始から続くこの地方の歴史を16のテーマに分けて紹介しています。

常設展示室内の「フリールーム」では、小規模な企画展示を開催しています。

テーマ10「近世尾張の文化」、テーマ16「まつり」は、定期的に展示替えを行います。そのほかのテーマも、随時展示替えを行っています。ボランティアによる解説を行っています。詳しくはお問い合わせください。

休館案内

　名古屋市博物館はリニューアル工事のため、2023年10月1日から長期休館します。休館中の活動や新しい博物館の様子については、ウェブサイトおよびSNSにてご確認ください。

1階展示室　特別展・企画展のスケジュール

特別展「The　名古屋市博物館　豊臣家もんじょ収集と博物館の現在地」

令和5年4月29日（土曜日）から6月11日（日曜日）

　名古屋市博物館は、近年、重要文化財「豊臣家もんじょ」の収集、市民の寄付による資料修復、様々な方法による展示や、市民と連携したイベントなど多彩な活動を行ってきました。さらに、これからの時代に即した魅力ある博物館になるための計画を進めています。リニューアルのための休館を目前に控えた本展では、「豊臣家もんじょ」をお披露目し、新しい取り組みなどから、名古屋市博物館の現在地と博物館がめざすこれからを紹介します。

特別展 水木しげる生誕100周年記念「水木しげるの妖怪 百鬼夜行展」

令和5年7月15日（土曜日）から9月24日（日曜日）

　妖怪漫画家として知られる水木しげる。妖怪とともに生きた彼の人生をたどるとともに、妖怪画創作の裏側を、貴重な水木自身の所蔵資料から紐解きます。さらに、水木しげるの妖怪画が100点以上も大集合！私たちの周りのさまざまなところに息づいている妖怪の姿に、想像をふくらませてみませんか。

2階展示室　常設展「尾張の歴史」

フリールームの展示

フリールームは、常設展示室の中の展示替えコーナーです。長期間展示できない資料や新収蔵資料などを中心に、小規模な企画展示を随時開催しています。

令和5年3月26日（日曜日）から5月21日（日曜日）

幕末の尾張名古屋

　異国人の来訪、西洋銃の調練、皇女和宮の下向、長州征討といった激動の時代における尾張藩の動向やこの地域の人びとのすがたを、新出史料を交えて紹介します。

令和5年5月24日（水曜日）から6月25日（日曜日）

誰かが家にやってくる

　薬売り、万歳、花嫁、神さま。むかしは折を見てさまざまな人や神が家に訪れました。家に訪れる人々を通して昔の暮らしを見ていきます。

令和5年6月28日（水曜日）から8月27日（日曜日）

縄文時代とそのくらし　瑞穂区・おおぐるわ遺跡

　はるか昔の人々の暮らしをさまざまなかたちで現在に伝える遺跡と出土品。今回は縄文時代の遺跡である瑞穂区のおおぐるわ遺跡に関係するさまざまな資料を紹介します。

令和5年8月29日（火曜日）から9月30日（土曜日）

常設展これまでとこれから

　常設展「尾張の歴史」は、長らく博物館の顔として当地の歴史を皆さんにお伝えしてきました。今年の秋からはじまる博物館のリニューアル工事にあたって、今までの常設展の歩みを振り返りながら、新しい常設展の計画、目指す姿を紹介いたします。

（テーマ10「近世尾張の文化」と共通の企画です。）

テーマ１０「近世尾張の文化」の展示

　名古屋城下の文化的な繁栄ぶりをしめす絵画や工芸品などを、定期的に展示替えしています。

令和5年3月1日（水曜日）から4月23日（日曜日）

没後200年 田中とつげん

　やまと絵に学び、独自の作風を切り開いた名古屋出身の画家、田中とつげんの作品を紹介します。

令和5年4月26日（水曜日）から6月25日（日曜日）

ささじるししもざとぜんえもんけ資料

　しもざとぜんえもんけは、東海道鳴海宿（現緑区鳴海町）の名家であるしもざとけの分家にあたります。本家と同じく酒造を営み、村や宿場の経営にも尽力しました。同家に伝来したもんじょや書画から豪商の営みと楽しみを紹介します。

令和5年6月28日（水曜日）から8月27日（日曜日）

文書に見る小牧・長久手の戦い

　豊臣秀吉と徳川家康が激突した天正12年の小牧長久手の戦いにおいては、双方が自軍を有利に導くため、多くのもんじょを発給しました。この中で安堵状や禁制といったもんじょも、戦いの重要な要素であったことを紹介します。

令和5年8月29日（火曜日）から9月30日（土曜日）

常設展これまでとこれから

　常設展「尾張の歴史」は、長らく博物館の顔として当地の歴史を皆さんにお伝えしてきました。今年の秋からはじまる博物館のリニューアル工事にあたって、今までの常設展の歩みを振り返りながら、新しい常設展の計画、目指す姿を紹介いたします。

フリールームと共通の企画です。

テーマ16「まつり」の展示

　名古屋近郊に伝わるからくり人形や祭礼道具などを、定期的な展示替えにより紹介します。

令和5年3月1日（水曜日）から4月23日（日曜日）

屋根神

　軒先や屋根にまつられている屋根神さま。近年受贈した屋根神の祠と、市内各所で撮影された屋根神の風景を紹介します。

令和5年4月26日（水曜日）から6月25日（日曜日）

したらのしかうち行事

　「しかうち行事」は作りものの鹿を矢で射る神事であり、陰暦正月から春先にかけて奥三河の山間部でおこなわれています。行事で実際に使用された資料を紹介します。

令和5年6月28日（水曜日）から8月27日（日曜日）

てんのう祭り

てんのう祭りは疫病除けを願い行われています。尾張地方各所で多様な姿を表すてんのう祭りに注目しましょう。

令和5年8月29日（火曜日）から9月30日（土曜日）

だし揃え

　名古屋では江戸時代以来「名古屋型だし」と呼ばれる形式のだしが造られ、祭礼を盛り上げてきました。現在の常設展テーマ16 の締めくくりとして、当館が所蔵するだし模型やだし玩具を一挙公開します

イベント、セミナー

参加費無料の歴史体験セミナー

　参加にあたり特別な配慮が必要な方は、ご来館の2週間前までに博物館にお知らせください。

むかしのおもちゃで遊ぼう

令和5年7月19日（水曜日）から9月3日（日曜日）

時間は午前9時30分から午後4時30分

会場は2階常設展ロビー

事前申し込みと参加費が必要な歴史体験セミナー

　申し込みは名古屋市電子申請サービスで受け付けます。電子申請サービスの利用が難しい方は、博物館にお問い合わせください。

参加費はひとり400円、受付は先着順で、定員に達し次第受付終了。キャンセル待ちの受付はありません。

参加にあたり特別な配慮が必要な方は、申し込みの時に博物館にお知らせください。

まねき猫絵付け体験

令和5年5月5日（金曜日・祝日）

午前10時から11時30分、午後2時から3時30分の２回。

定員は各回３０人

募集期間は4月12日（水曜日）から5月4日（木曜日・祝日）

小学３年生以下は保護者の同伴が必要です。

自分だけのまが玉づくり

令和5年8月26日（土曜日）、27日（日曜日）

どちらの日も午前10時から11時30分、午後2時から3時30分の２回。

定員は各回３０人

募集期間は8月２日（水曜日）から各開催日の前日まで

小学３年生以下は保護者の同伴が必要です。

はくぶつかん講座

当館学芸員が講師をつとめる講座です。聴講無料ですが事前申し込みが必要です。申し込みは名古屋市電子申請サービスで受け付けます。受付は先着順で、定員70名に達し次第受付終了。キャンセル待ちの受付はありません。

　募集期間は講座ごとに異なります。

電子申請サービスの利用が難しい方は、博物館にお問い合わせください。

参加にあたり特別な配慮が必要な方は、申し込みの時に博物館にお知らせください。

どの講座も午前9時30分受付開始、10時開講です。

第1回　新発見　尾陽熊手図絵　にみる幕末の名古屋

令和5年4月15日（土曜日）

募集期間は3月23日（木曜日）から4月14日（金曜日）

第2回　名古屋市博物館の現在地

令和5年5月6日（土曜日）

募集期間は4月11日(火曜日)から5月5日(金曜日・祝日)

第3回　豊臣家もんじょの世界へようこそ

令和5年5月13日（土曜日）

募集期間は4月18日（火曜日）から5月12日（金曜日）

第4回　博物館資料の保存と修復

令和5年5月20日（土曜日）

募集期間は4月26日（水曜日）から5月19日（金曜日）

第5回　収蔵品になるまでの話　映像資料の受贈を例に

令和5年5月27日（土曜日）

募集期間は5月2日（火曜日）から5月26日（金曜日）

第6回　来訪する人々の民俗

令和5年6月17日（土曜日）

募集期間は5月24日（水曜日）から6月16日（金曜日）

第7回　縄文時代の遺跡とその調査

令和5年7月8日（土曜日）

募集期間は6月13日（火曜日）から7月7日（金曜日）

第8回　本校ヨリノ通知　を読む

令和5年8月12日（土曜日）

募集期間は７月19日（水曜日）から８月11日（金曜日・祝日）

第9回　「いっしもの」の見方いろいろ

令和5年8月19日（土曜日）

募集期間は7月25日（火曜日）から8月18日（金曜日）

第10回　北斎　絵手本とえいらく屋

令和5年9月2日（土曜日）

募集期間は8月8日（火曜日）から9月1日（金曜日）

そのほかのイベント

はくぶつかんクイズラリー

令和5 年7月15日（土曜日）から9月3日（日曜日）

常設展でクイズラリーを開催します。常設展観覧料が必要です。

はくぶつかん古書市

令和5年8月26日（土曜日）から9月3日（日曜日）

郷土書、歴史書中心のフェアです。入場無料ですが古書は有料です。

利用案内

郵便番号4 6 7 0 8 0 6

名古屋市瑞穂区瑞穂通一丁目27の1

電話　０５２８５３２６５５

ファクシミリ　０５２８５３３６３６

開館時間　午前9時30分から午後5時まで。ただし入場は4時30分まで

休館日　毎週月曜日。ただし祝日の場合は、直後の平日。第4火曜日。ただし祝日を除く。リニューアル工事のため、2023年10月1日から長期休館いたします。

観覧料　常設展は、一般300円、高校生・大学生は200円、中学生以下無料。30名以上の団体料金は、一般250円、高校生・大学生は150円。ただし、中学生、高校生、大学生は学生証の提示が必要。市内在住の65歳以上の方は100円。ただし、敬老手帳などの提示が必要。特別展・企画展はその都度定めます。

交通　地下鉄桜通線「桜山」下車、4番出口を南へ150メートル。市バスの場合は、金山バスターミナルから「金山14系統　桜山経由」で「博物館」下車。

駐車場は74台収容、普通車は1回300円、大型バスは1回1200円。

令和5年4月から令和6年3月までの、名古屋市蓬左文庫の事業案内

蓬左文庫は特別整理・年末年始休館のため、令和5年12月16日（土曜日）から令和6年1月3日（水曜日）まで休館します。

企画展 能の世界　しん、なん、にょ、きょう、き

令和5年4月15日（土曜）から5月28日（日曜）

日本の伝統芸能である能は600年の歴史を刻んだ舞台芸術です。能の演目の５つの分類である　しん、なん、にょ、きょう、き　をテーマに能面・能装束を紹介します。

企画展　極める　江戸の鑑定

令和5年6月3日（土曜日）から7月17日（月曜日・祝日）

江戸時代には、刀剣や書蹟・絵画など、それぞれの分野で美術品の真贋や価値を評価する「鑑定」が行われていました。作品と折紙・きわめふだ・箱書といった鑑定の証から、鑑定の様相にも迫ります。

夏季特別展　徳川家康　天下人への歩み

令和5年7月23日（日曜日）から9月18日（月曜日・祝日）

徳川家康の波乱の生涯を歴史史料などから辿るとともに、駿府御分物、家康の遺品を中心に、軍事・政治・学問・芸能など、様々な側面に焦点を当て、家康像を紐解きます。

秋季特別展　人間賛歌　江戸の風俗画

令和5年9月24日（日曜日）から11月5日（日曜日）

戦国の乱世が終わり、泰平の世が到来した江戸時代、現世を謳歌する人々の姿を描いた風俗画が数多く登場しました。人を主題とした風俗画の名品を展示し、その普遍的かつ魅力あふれる世界を紹介します。

企画展　徳川りんせい史研究所開設100周年記念　尾張藩と木曽山　徳川よしちかのまなざし

令和5年11月11日（土曜日）から12月15日（金曜日）

徳川美術館の初代館長であり19代当主の徳川よしちかが、尾張藩が管理・運営した木曽山の研究を志し、徳川りんせい史研究所を開設して今年で100周年を迎えます。よしちかの木曽山研究の歩みや収集した数々の史料を紹介します。

企画展　うるわしの古筆

令和6年1月4日（木曜日）から1月28日（日曜日）

古筆とは狭義には平安鎌倉時代の貴族がしたためた歌集などを指します。しげゆきしゅう、めいかかしゅうせつなど尾張徳川家伝来品から、寄贈を受けた、いしやまぎれやせきどぼんこきんわかしゅうなど、古筆の名品の数々を紹介します。

企画展　ひなを楽しむ　旧家のひな飾り

令和6年2月3日（土曜日）から4月3日（水曜日）

江戸時代から昭和に至るまでの旧家で飾られた様々なお雛さまを紹介します。大名家尾張徳川家伝来の雛とは趣の異なる、素朴な中に親しみを感じさせてくれる旧家の桃の節句をお楽しみください。

利用案内

郵便番号 4 6 1 0 0 2 3

名古屋市東区徳川町1001

電話　０５２９５３２１７３

ファクシミリ　０５２９５３２１７４

開館時間　午前10時から午後5時まで。ただし入室は4時30分まで

休館日　毎週月曜日。ただし祝日の場合は、直後の平日。特別整理・年末年始休館。

観覧料　徳川美術館と共通で、一般1400円、高校生・大学生は700円、小学生・中学生は500円。

交通　名古屋駅から、市バス基幹バス2号系統・名鉄バス「栄経由」で「徳川園新出来」下車、徒歩3分。名古屋観光ルートバス　メーグルで「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」下車すぐ。JR中央線「大曽根」下車、南出口より徒歩10分。

令和5年4月から令和6年3月までの、名古屋市秀吉清正記念館の事業案内

秀吉清正記念館は館内点検のため、令和5年11月24日（金曜日）から12月8日（金曜日）まで、年末年始は12月29日（金曜日）から令和6年1月3日（水曜日）まで休館します。

特集展示 地図を楽しむ

令和5年3月4日（土曜日）から5月28日（日曜日）

地図は作成された時の地理感覚、流行、政治的意図などをさぐるための重要な資料となっています。さまざまな地図がつくられた時代背景や、楽しみ方を紹介します。

パネル展　尾張の城

令和5年6月10日（土曜日）から7月9日（日曜日）

尾張地方の城郭遺跡の中から、遺構が残るところ、歴史上重要なところ、公園として整備されたところを中心に紹介します。歴史散策のヒントとしてご活用ください。

夏休み特集展示 太閤記の世界

令和5年7月21日（土曜日）から9月3日（日曜日）

夏休み期間の小中学生向け企画です。「太閤記」は、豊臣秀吉を主人公とした伝記で、江戸時代初期に著されました。これをもとに多くの軍記物語、浮世絵、芝居が生まれていきました。後世の作り話なども含めて、私たちがイメージする秀吉像は、どのように定着していったのかをさぐります。自由研究にご活用ください。

特別陳列　桶狭間の戦い

令和5年10月7日（土曜日）から令和5年11月23日（木曜日）

永禄３年（1560年）に起きた桶狭間の戦いは、総大将である今川義元が討ち死にし、織田信長が一方的に勝利するという劇的な結果となりました。この戦いをめぐる情勢を紹介し、信長の勝因をさぐります。

パネル展　現存１２天守

令和5年12月9日（土曜日）から令和6年2月12日（月曜日・祝日）

江戸時代には、多くの城郭が存在していました。この時代に築かれた城郭の特徴としては、権威のシンボルとして高層の天守が建てられたことが挙げられます。天守が現存している城は全国で１２か所あり、すべて国宝あるいは重要文化財に指定されています。その姿と歴史を紹介します。

パネル展　尾張に残る秀吉と清正の足跡

令和6年2月24日（土曜日）から5月19日（日曜日）

豊臣秀吉、加藤清正はともに尾張中村の出身ですが、大きな活躍の舞台となったのは西日本が中心です。一方で尾張地方にも、その足跡を示す場所が残っています。これらの現状と、残された伝承を史実と対比して紹介します。

利用案内

郵便番号4 5 3 0 0 5 3

名古屋市中村区中村町茶ノ木25　中村公園文化プラザ2階

電話　０５２４１１００３５

ファクシミリ　０５２４１１９９８７

開館時間　午前9時30分から午後5時まで

休館日　毎週月曜日。ただし祝日の場合は、直後の平日。第4火曜日。ただし祝日を除く。館内点検休館、年末年始休館。

観覧料　無料

交通　地下鉄東山線「中村公園」下車、3番出口を北へ徒歩10分。市バスの場合は、名古屋駅から「名駅25系統　中村巡回」で「豊国神社」下車、徒歩2分。